中建日報
発行所
中建日報社
広島市中区十日市町2丁目1番8号
〒730-0805 TEL (082) 297-7111(代)
FAX (082) 297-7112
http://chuken-news.com/
E-mail:info@chuken-news.com
購読料 1ヶ月 8,700円
© 中建日報社 2013

中国地方受注高 1兆7227億円で8.1%増

岡山、山口、島根の3件が2桁増

国交省

24年度の受注動態統計

国土交通省がまとめた平成24年度建設工事受注動態統計調査報告によると、中国地方の受注高は5県で1兆7227億3800万円となり、23年度に比べ8・1%増えた。県別では広島、鳥取両県で前年度を下回ったものの、岡山、山口、島根の3県では2桁増を示した。元請・下請別では、元請受注高が1兆1236億2000万円で2・6%増にとどまったのに対し、下請受注高は20・4%増の5991億1800万円と大きく伸びた。また、業種別では総合工事業が1兆1339億6500万円で8・0%増、設備工事業が3939億3500万円で21・9%増える一方、職別工事業は1948億3900万円で11・2%減った。

公共機関からの受注額（500万円以上）は2・4%増の5831億9100万円。内訳は国の機関が2020億6600万円、地方が3811億2500万円で、岡山、島根の2県で増えた。一方、民間では、建築工事・建築設備工事（5億円以上）が6・4%増の1812億1700万円となり、広島県、山口県で増額。土木工事・機械装置工事（1件500万円以上）では鳥取県、岡山県で伸び1・3%増の2028億5600万円だった。

発注者別でみると、建築・建築設備では不動産業が624億5500万円で最も多く、サービス業458億9600万円、製造業380億3200万円と続く。土木・機械装置では製造業853億400万円、電気・ガス・水道業405億円、運輸・郵便業204億8900万円の順となった。

同調査は、全国の建設業許可業者（約51万業者）の中から約1万2000業者を対象に、毎月の受注額を発注者や工事の種類、地域などの各項目別に調査、報告しているもので、今回の結果は24年度の12カ月分を集計した。全国の受注高は、前年度比17・4%増の48兆4111億円だった。

公共機関からの受注工事（1件500万円以上）　（単位:100万円、%）

	合計	前年比	国の機関	国	独立行政法人	政府関連企業等	地方の機関	都道府県	市区町村	地方公営企業	その他
鳥取県	57,270	▲9.8	19,167	12,905	5,162	1,100	38,103	24,763	11,825	1,137	377
島根県	126,103	11.9	41,425	33,359	2,743	5,324	84,678	52,319	27,431	2,427	2,501
岡山県	125,368	26.9	31,835	16,467	3,277	12,091	93,534	33,011	46,151	11,791	2,580
広島県	146,665	▲5.3	58,210	41,298	3,619	13,293	88,455	22,743	55,061	8,964	1,687
山口県	127,784	▲8.4	51,428	42,932	4,335	4,161	76,356	27,208	34,274	12,827	2,047
5県合計	583,191	2.4	202,066	146,961	19,136	35,969	381,125	160,045	174,742	37,146	9,191

民間等からの受注工事

（1）建築工事・建築設備工事（1件5億円以上）　（単位:100万円、%）

	合計	前年比	農林漁業	鉱業、採石業、砂利採取業、建設業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸業、郵便業	情報通信業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業	サービス業	その他
鳥取県	1,970	▲35.0	0	0	0	0	0	0	0	582	1,388	0
島根県	3,236	▲59.7	1,045	0	0	0	0	0	0	0	1,679	0
岡山県	48,282	▲3.9	0	0	0	6,503	1,603	5,019	0	4,016	16,681	2,015
広島県	101,441	18.7	0	0	1,759	3,955	3,786	3,642	3,360	49,961	18,332	698
山口県	26,288	11.8	0	0	0	1,449	0	0	0	7,896	7,816	0
5県合計	181,217	6.4	1,045	0	1,759	11,907	5,389	8,661	3,360	62,455	45,896	2,713

（2）土木工事及び機械装置等工事（1件500万円以上）　（単位:100万円、%）

	合計	前年比	農林漁業	鉱業、採石業、砂利採取業、建設業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸業、郵便業	情報通信業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業	サービス業	その他

農産物直売施設検討へ

25年度で実証実験も

呉市

【呉】呉市は、農産物直売施設の整備に向けた検討に取り組む。25年度では市内の3JAなどで組織する産直市実行委員会が行う実証実験に対して助成し、拠点となる直売施設の規模や整備方法等の検討を行い、順調にいけば、26年度から27年度までで直売施設の整備を進め、市は整備に対して支援する。

市内の農業者は、島しょ部地域を中心に高齢化が進み、生産規模を縮小している人も多いことから、市場出荷するには量が揃わず、また、消費地から離れているため、商品として流通していない農産物も多い。このため、少量の農産物でも日常的に販売を可能とする拠点的な直売施設を整備することが地域や農業を活性化させるとして、生産地から遠距離にある直売施設へ効率的で容易に出荷できるシステム構築を行う必要があるとした。このため、3JAなどで組織する呉市産直市実行委員会が行う実証実験に対して助成し、拠点となる直売施設の規模、整備方法等の検討を行うもの。

25年度では、新規事業として施設整備検討へ向けた補助金として500万円を計上。集荷システムの検討、実証実験規模、整備方法等を検討するため、栽培講習会や出荷説明会の開催、集荷ルート等の検討のほか、実証実験を実施する。順調にいけば、26年度から27年度までで直売施設の整備を進め、市は施設整備に対して支援する。

「この人」に聞く

日本ペイント販売(株)
コンクリート診断士
中丸大輔氏

6月6日広島フォーラムに登場

「塗るだけ」剥落防止。工期短縮

老朽化した橋からコンクリート片が剥落・落下する事故が相次ぎ、管理者が緊急点検を実施するなど広島市でコンクリート剥落防止に対する関心が特に高まりを見せる中、「まさにタイムリーな内容」となる『コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2013』が6月6日の午後1時から、広島市南区比治山の南区民文化センターで開かれる。

（一社）コンクリートメンテナンス協会（徳納武使会長）らの主催で毎年開かれ、今年は全国25カ所を行脚フォーラムの中で『コンクリートの剥落防止と塗膜型剥落防止システムについて』をテーマに登壇予定の中丸大輔氏に、講演のポイントを聞いた。

ーコンクリート剥落の現状について。

「永久的に耐久性があると考えられていたコンクリート構造物だが、中性化・塩害・ASR等による劣化が進んでおり、構造物の劣化によってコンクリート片が剥落し、歩行者や車両に落下する事故は全国で生じている。また、渋滞緩和等を目的に多くの高架橋（跨道橋・跨線橋）が建設されているが、これらの高架橋が設置されている箇所は交通量の多さや線路・道路を跨いでいることから通常の剥落防止工事よりも難工事になりやすく、施工費も高くなるため、大多数の施工箇所が未実施のままとなっている。

しかし、剥落防止工事を行うことで落下事故を防ぎ、歩行者や車両等の安全を守ることは急務であると考える」

ー塗膜型剥落防止システムと講演のポイントについて。

「塗膜型剥落防止システム（タフガードQ-R工法）には大きな2つのポイントがある。1つ目は塗るだけということ。従来の剥落防止工法は連続繊維シート（ビニロンメッシュ等）にエポキシ樹脂等を用いて接着する工法だが、橋梁のコンクリート部は出隅や入隅、配管等があるため、それに合わせて連続繊維シートを加工・接着するのは施工効率が良くない。また、5~6の工程と5日間程度の工期も必要となる。これに対して塗るだけ工法は、言葉の通り塗るだけなので連続繊維シートの加工も必要なく、形状のまま塗るだけで剥落防止が可能。4工程・最短2日間での施工が可能となるため、従来工法と比べて工事に伴う交通規制日数や高所作業車作業日数も短縮でき、コストダウンが図れる。

2つ目は伸びる塗膜であるということ。コンクリートはひび割れを起こすことで中性化や塩害などの劣化因子が浸入しやすくなるが、ひび割れを完全に防止することは困難だ。塗るだけ工法は、優れた伸び率（45%）とクラック追従性（1・9㎜）があり、コンクリートにひび割れが生じても塗膜は割れず、劣化因子がコンクリート内部に浸入することを防ぐことができる」

ー特にどのような方に参加してほしいですか。

「発注者や建設コンサルタントだけでなく、元請・下請問わず補修の関連業者の方々、さらにこれからコンクリート補修を行いたいと考えている方々、いずれの方にも参考にしていただけると思う」

ー意気込みや参加予定者へのメッセージは。

「貴重な時間をいただいて御聴講いただくので、塗るだけ工法の良さをわかりやすく、丁寧に説明できれば」

なお、フォーラムは『コンクリートの劣化と補修工法選定の考え方』（講師＝極東興和・江良和徳氏）との2本立て。中丸氏の講演は午後4時10分から行われる。

積極展開と会

日本建築協

あいさつする高松支部長

（一社）日本建築協会中国支部（高松隆夫支部長、50者）は28日、広島市中区のアンデルセン6階で25年度通常総

総会では
長が開会に
団法人とな

山陽建設がメガソーラー

福山市駅家町で着工

9月稼働予定

建設が進むメガソーラー発電所

【福山】山陽建設（三原市宮沖、深山隆一社長）は、福山市駅家町の同社遊休地に、「（仮称）山陽建設福山メガソーラー発電所」を建設、電力供給事業に参入する。今月上旬には、シャープの設計・施工で着工。8月の完成を予定し、9月からの稼働開始を目指す。

発電所は、関連会社の山陽ブロック工業跡地約1万4800㎡（駅家町向永谷36-2）に、シャープ製の太陽光パネル約4440枚（設置容量約1MW）を設置する。

年間予
114
般的な
費電力
帯分に
電した
固定価
より、
力に販
運営も
深山
い価値
するた
頃から
重ねて
より、
上を図
再生可
の創出
きたい

KOMATSU
コマツ建機販売(株)
中国カンパニー
本社 TEL082-922-3111
広島営業部 TEL082-922-3113
山口営業部 TEL083-985-0111
岡山営業部 TEL086-282-4141
コマツレンタル(株)
中国福岡営業部
本部 TEL082-925-5530